



6月

NST担当者会議活動報告

摂食嚥下障害について

耳鼻咽喉科 渡邊聖吾医師より、摂食嚥下障害について、実際の喉頭内視鏡検査の動画を使用しながら講義をしていただきました。

「嚥下機能評価の実際がわかり勉強になりました」との声がかけられました。



食事介助とポジショニング



摂食・嚥下障害看護認定看護師 野邊恵さんよりベットと車椅子を使用したポジショニング・食事介助の実践をしていただきました。

「実際に体験したりすることでイメージが付きやすかったです」

との声がかけられました。

TakeTubeにアップされています！ご活用ください！

7月

NST豆知識

低栄養の診断基準 ^{グリム} GLIM基準

世界の主要な臨床栄養学会が協力し、新しい低栄養診断基準として提唱されたGLIM基準についてご紹介します。GLIM基準は、従来の食物摂取不足による低栄養に加え、医療施設における疾患関連性低栄養も考慮されており低栄養の診断および栄養治療における世界標準基準、世界の共通言語となることが期待されています。

GLIM : Global Leadership Initiative on Malnutrition

低栄養診断の国際基準

GLIM基準による低栄養診断のプロセス

●栄養スクリーニング

- ・全ての対象者に対して栄養スクリーニングを実施し、栄養リスクのある症例を特定
- ・検証済みのスクリーニングツール（例：MUST、NRS-2002、MNA[®]-SFなど）を使用

栄養リスクあり

●低栄養診断

表現型基準 (フェノタイプ基準)			病因基準 (エチオロジー基準)	
意図しない体重減少	低BMI	筋肉量減少	食事摂取量減少/消化吸収能低下	疾病負荷/炎症
<input type="checkbox"/> >5%/6ヶ月以内 <input type="checkbox"/> >10%/6ヶ月以上	<input type="checkbox"/> <18.5, 70歳未満 <input type="checkbox"/> <20, 70歳以上	<input type="checkbox"/> 筋肉量の減少 ・CTなどの断層画像、バイオインピーダンス分析、DEXAなどによって評価。下腿肉回反などの身体計測値でも代用可。 ・人種に適したサルコペニア診断に用いる筋肉量減少の基準値を使用	<input type="checkbox"/> 1週間以上、必要栄養量の50%以下の食事摂取量 <input type="checkbox"/> 2週間以上、様々な程度の食事摂取量減少 <input type="checkbox"/> 消化吸収に悪影響を及ぼす慢性的な消化管の状態	<input type="checkbox"/> 急性疾患や外傷による炎症 <input type="checkbox"/> 慢性疾患による炎症
それぞれの項目で1つ以上に該当			それぞれの項目で1つ以上に該当	

表現型基準と病因基準の両者から1項目上該当

低栄養と診断

●重症度判定

	意図しない体重減少	低BMI	筋肉量減少
重度低栄養と診断される項目	<input type="checkbox"/> >10%, 過去6ヵ月以内 <input type="checkbox"/> >20%, 過去6ヵ月以上	<input type="checkbox"/> 高度な減少	<input type="checkbox"/> 高度な減少

表現型基準の3項目で、より高度な基準値を超えたものが一つでもある場合は重度低栄養と判定され、一つも該当しない場合は中等度低栄養と判定

引用元：JSPEN HPより

令和6年度診療報酬改定に伴い回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定するにあたりGLIM基準を用いることが必須とされ当院回復期リハ病棟では6月より使用を開始しています。

また、7東・南病棟では7月よりリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を算定していますがGLIM基準を用いた低栄養の診断を行うことが算定条件となっています。

◆研修会のお知らせ◆

9月2日よりNST専門療法士資格取得のための研修会が始まります。席に若干の余裕があるため当日参加希望の方は直接ご連絡下さい。ご参加お待ちしております。



■お問い合わせ先 栄養科科长 遠藤 (PHS: 5417)

